

# 元戦車中隊長の模型部屋 第9回

皆さん、こんにちは。令和初のクリスマスまであと少しですね。良い子のみんなはサンタさんにどんなプレゼントをお願いしているのでしょうか？私はもう悟りきった心の汚れた大人なのでプレゼントは自分で買います(笑)とはいえ、我が家の防衛費には限りがあるので最近のリサイクルショップで値下がりしたプラモデルを購入してます。で、最近購入して作ったのが・・・



キットはAFVクラブさんのキットです。所長の模型部屋（第14回）で紹介したM41はOKUNO社のものでしたが、どちらも作りごたえのある良いキットです。ただ、砲身基部の防塵カバーがパーツ化されてなかったもので、それをどうしても自作する必要がありました。そこが一番の難関でしたね。

所長の模型部屋でも述べたのですが、M41は私が高田駐屯地記念日で初めて見た戦車で、相馬原駐屯地の第12戦車大隊から参加していたものです。今回は、その第12戦車大隊仕様で作りました。



実際に見たのは小学生の頃ですから、細部の作り込みには様々な戦車写真集を参考にしました。でも、形になるにつれあの頃の戦車に対する憧れが思い出されます。軽戦車といえども車内は結構広く、米国人サイズで大きいんだなあ・・・と感じましたね。



M41に乗っていた大先輩に聞いた話では、この頃で既にオートマチックで操縦がしやすく、不整地走破能力もとても高かったそうです。エンジン音がうるさいのが玉にキズですが・・・



キットの履帯はベルト式だったので、撓みの表現が難しかったのですが、上部転輪に接着することにより何となくそれらしくなりました。



履帯と接触して摩耗する起動輪の歯とセンターガイドは磨り減って地金が出るので、鉛筆の粉などを擦りつけてそれらしく表現しています。これでグッと精密感が上がります。



マフラー部は高熱と風雨により塗装が焼けて剥がれ落ち、赤錆が発生します。絵画用のパステルコンテの様々な茶色を粉にして、アクリル塗料のつや消し材と混ぜたりその上に振りかけたりとサビの凹凸感というかザラザラ感を表現しています。どうでしょうか？

マフラーのススは、これもパステルコンテの黒を使用しています。



今回の最大の難関！防塵カバーです。水性木工用ボンドを水で溶き、それを塗ったティッシュペーパーを砲身基部に貼り付けてそれらしくなじませて固定しました。乾いた後にキャンバス留め金具などを鉛線とプラペーパーの細切りで作りました。実車写真を見ながら作って見たのですが・・・うーん、イマイチかな。



車体後部の油脂給油口ですが、こぼれたオイルというか燃料をクリア塗料で表現してます。あんまりやりすぎると汚くなるので控えめに(笑)

各種ハッチのヒンジ部のサビも忘れちゃいけません。パステルの粉を塗って表現してます。まだまだ嘘くさいですが…引き続き研究します。



戦車乗員のフィギュアはファインモールドさんの「陸上自衛隊戦車乗員セット」を使用しました。ヘッドセットは旧型で、作業服も素材の違いや使用の度合いでの色落ちを隊員毎で表現しています・・・わかりますかね？

階級章も車長は2曹、装填手は陸士長としましたが、装填手の階級章は腕についているので隠れてわかりません(笑)重機関銃はつや消し黒で塗装した上に鉛筆の粉をこすりつけてます。毎回の手法ですが、自然な金属感が出るのでお気に入りです。



左：ヘッドライトはWAVE社のHアイズを使用し、レンズ感を表現してます。黒いレンズは赤外線投光用のフィルターをつけたライトで、赤外線暗視スコープを使用して操縦するものです。右：T型マズルブレーキはススで汚れるのでパステルの黒の粉をこすりつけてます。



風雨にさらされる戦車で  
すから錆の発生がどうしても  
不可避です。やりすぎに  
ならないようにパステルの  
粉で錆を表現しています。  
塗装はGS1クレオスの  
ブラウンバイオレットを使用  
しました。

昭和の自衛隊の色に近い  
と思います。このこだわり  
はモデラーのお好みですけ  
どね。

で、昭和の自衛隊の主敵は「ゴジラ」ですよ(笑)そのころはまだ保安隊  
でしたが。ということでゴジラと戦ったM4戦車と並べて・・・



第一京浜国道北上中の  
ゴジラを迎撃せよ!!



あ、またもや妄想にふけてしまいました。それでは皆様、良いお年を!